

埼玉親善大使・フィンドレー大学平成27年度派遣奨学生  
月例報告書・10月 徳永美友

アメリカでのハローウィン

フィンドレー大学に来ておよそ三カ月が経ちました。10月初旬には美しい紅葉を所々で見ることができましたが、10月の終わりにはそれも散ってしまい、時の流れの早さをひしひしと感じています。中間テストもあっという間に終わり、残るは期末テストのみです。今回の報告書では、Funday Sunday、Hancock Hall Halloween Parade について書きたいと思います。



<Funday Sunday>



Funday Sunday とは、学内にある MazzaMuseum というミュージアムで、月に一回、決められたテーマに沿って行われるイベントです。このイベントの一番の目的は、子供と一緒に本やアートを楽しむことを家族に働きかけることです。FundaySunday を開くことで、普段 MazzaMuseum に訪れない方もミュージアムの中を見て色々なアートに触れ合うことができます。いくつかのブースがあり、例えば Story Station では子供向けに本の読み聞かせをしています。ここでは、子供たちに本の内容に興味を持ってもらうよう、読み方も工夫をこらしています。日本のブースでは、もっと日本の文化に親しみを持ってもらい、身近に感じてもらえることを目標に掲げています。私はここで、毎月、ボランティアとして、企画段階から携わっています。今月のテーマは Dot Day (水玉) ということで、日本ブースではヨーヨー釣りを行いました (写真左上)。ただヨーヨーを釣ってもらうだけでなく、そのヨーヨーに好きなペイントをしてもらい、1人1人オリジナルのヨーヨーを作れるようにしました。どうすればテーマに沿った内容で日本への親しみを感じてもらえるか、喜んでもらえるか、非常に悩みましたが、当日、たくさんの子供たちがヨーヨーを手に楽しんでくれました。日本ブースでの経験が日本への親しみにつながり、子供たちが日本に興味を持つきっかけになるよう、これが

らも企画に励んでいきたいと思えます。

#### <Hancock Halloween Parade>

これは、ダウントウンで開催されているハローウィンのパレードで、登録をすれば誰でも参加をすることが可能です。仮装をして、お菓子を配りながら、大通りを30分程度歩きます。車両での参加も可能で、心霊バスのようにデコレーションを施したバスなど目を奪われるものばかりでした。道路の脇には袋を持った子供達がズラリと並び、私たちが渡すお菓子を心待ちにしていました。私も、日本人留学生のみなさんと一緒にパレードに参加して、お菓子を配り歩きました。



お化けに仮装している友人と、デコレーションされたトラックです。(写真上)



当日は雨で肌寒い日となりましたが、そのような中お菓子を待っている多くの子供たちを見て、アメリカの子供たちがハローウィンという行事をいかに心待ちにしているかを実感しました。ハローウィンが近づくにつれて自宅を飾りつけする家庭も多く(写真左)、どれも見ていても非常に楽しめるものばかりでした。

#### <最後に>

先日、埼玉県の上田知事が、オハイオ州のジョン・ケーシック知事に、選挙戦での健闘を祈る旨の手紙を送ったそうです。ケーシック知事は2016年大統領選に向けた共和党指名候補争いに出馬すると表明し、こちらでは大きな話題となりました。私も、ご健闘・ご活躍をお祈りしています。